有珠山

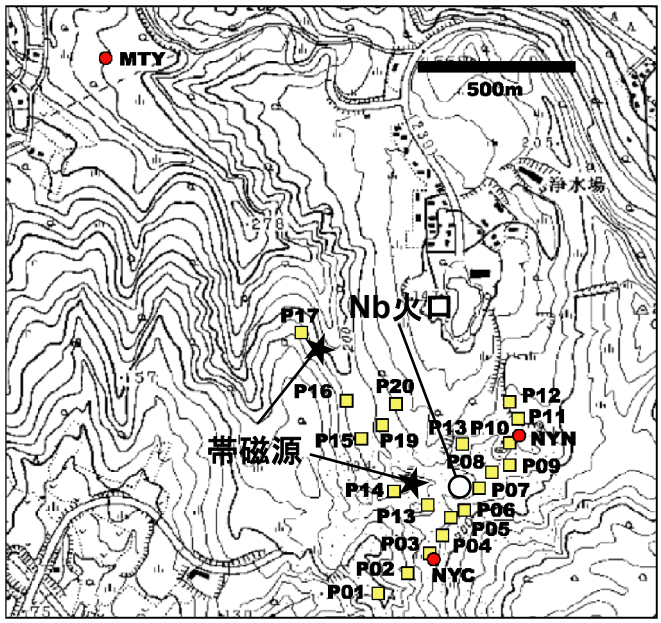
○西山火口近傍の地磁気変化（第４報）

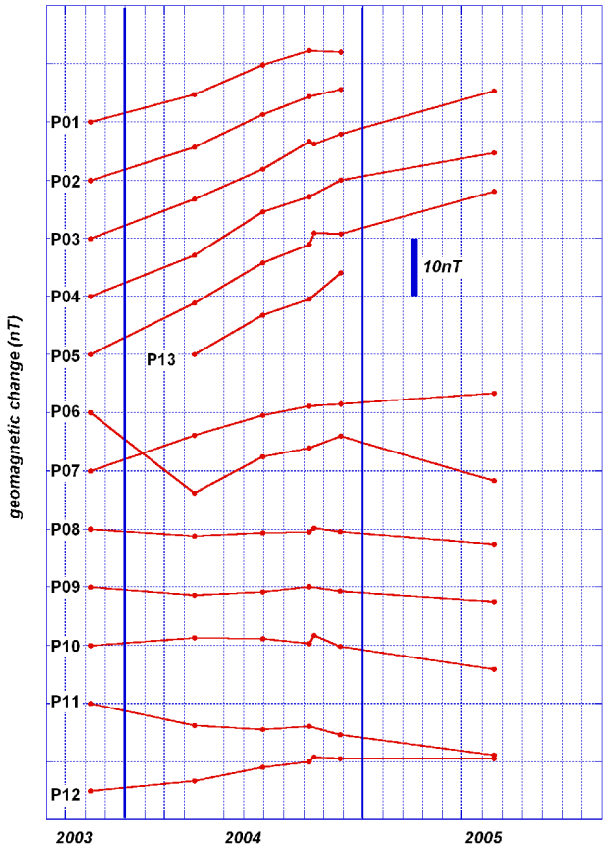
2004年10月の第99回予知連報告以後，西山火口群の北西域にも繰り返し磁気点を増強した．これまでの傾向と同様，Nb火口の南側で全磁力増加，北側で全磁力減少が継続していることがわかったほか，北西域の地熱地帯の一部にも大きな変化を認めた（P16とP17）．Nb火口の中心から約100m西方の深さ250mの位置に帯磁源（冷却源）に対応する磁気双極子が推定される．これとは別に，P17付近のごく浅い位置にもう一つの正帯磁源が想定される．

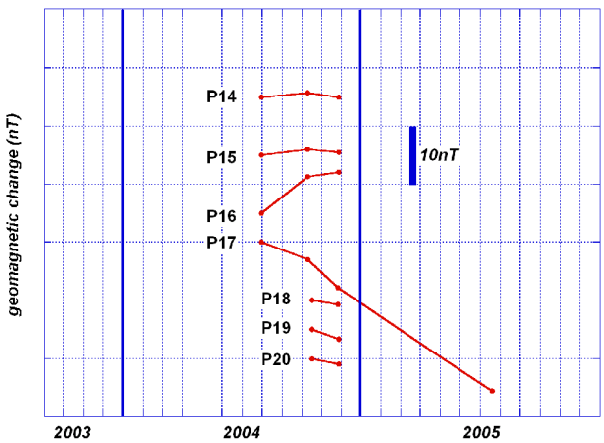
図１（右上）西山火口域周辺の磁気点配置．○で示した３点はプロトン磁力計による連続観測点．□は繰り返し磁気点を示す．

図２（左下）繰り返し磁気点の全磁力変化（P01～P13：2003年11月～2005年7月）．基準点はMTY．

図３（右下）繰り返し磁気点の全磁力変化（P13～P20：2003年11月～2005年7月）．基準点はMTY．







（橋本・鈴木・前川）